

## 大切な水

山添村立山添中学校二年

岡田 水瀬

僕の家では日常生活のいろんな場面で毎日水を使っています。例えば、歯を磨く、顔を洗う、お風呂に入る、手を洗う、飲み水、料理など他にもありますが、思いつく限りでもたくさん使っています。僕たちの暮らしを支えている欠かせないものだと思っています。

今年のお正月、能登半島地震が起きました。僕の地域でも震度三から四あり、結構揺れていたのを覚えています。被災地では広い範囲で断水が続いていると知りました。水が足りない、飲み水はもちろんトイレの水も流せない状況だそうです。水が足りないだけで日常生活に大きく支障が出るんだ、と当たり前のことに驚いてしまいました。

この地震で水不足は経験しなかったけれど、日常生活で当たり前に使っていた水の大切さを感じました。そこで僕は節水に取り組もうか

など思いました。でも僕は、節水をしても意味あるのかなと思っていました。その理由は二つあります。一つは一人の人間が節水するだけでは何も変わらないと思っただけです。二つ目は、節水をしたところで地球の水の量は変わらないからです。しかし、このまま何もしなかったら何も変わらないという思いもありました。

そこで僕は二つ目の理由の疑問と地震以外でなぜ水不足が起るのかを調べました。まず疑問を解決するためにインターネットで調べました。調べると、地球上の水の量が変わらなくても必要な時に、必要な場所に分配されていないといけないから、というのが理由でした。確かに、と納得できました。そして水不足が起る原因、これは複数ありました。大きく分けると三つあります。一つ目は水の使用量が増えていることです。これには人口増加と産業発展が原因です。世界の総人口が増えているため、水の使用量が増えるからで

す。それに産業発展することで、工業や農業に使う水の使用量も増えるからです。また産業発展に伴って生活レベルが向上し、生活に必要な水の量も増えてしまうこともあります。二つ目は水を効率よく使えていないことです。これは僕の疑問にも繋がります。水が必要な時に必要な場所に分配されなければ、水不足を解決することはできないからです。三つ目は水源が守られていないことです。それには都市化による水源の破壊と、排水による水源の汚染です。開発が進むことによつて水田が消失したり、水を蓄積していた森も減少したりするからです。生活排水や工業排水は川や海、地下水へと流れ、使えるはずだった水が汚染され使えなくなります。

水不足の原因を調べると、原因が全く知らないものばかりではなく、なんとなく聞いたことがあるものでした。その中で僕にできそうなことは二つ目の、水を効率よく使うことだと思いました。僕は日常生活でいつ一番水

を無駄に使っていきそうか振り返りました。振り返ってみると、手を洗うとき、お風呂に入るときに無駄にしまつていたと思います。一つ目の手を洗うときは、石鹸で洗った後泡を流している時間が長いことです。二つ目のお風呂に入るときは、体を洗う前、シャワーを浴びている時間が長いことです。これは簡単に節水できそうで、使っている時間をすぐに短くできそうだと思います。ただ、僕が一番大事だと思ったことは水を使うとき、意識して水を使いすぎないようにすることです。僕は使う時間を短くすることで節水できると思つたし、意外と節水できる場面が多いと感じました。なのでこれからは常に節水を心がけて水を使つていこうと思います。